

第1回 議会基本条例検証委員会 会議要旨

開催日：令和元年10月1日（火曜日）

会場：議会運営委員会室

出席者：宮崎座長（自由民主党）
本田議員（公明党）
奥村議員（ハートフル北九州）
戸町議員（自民の会）
藤沢議員（日本共産党）

議題：

- 1 議会基本条例検証委員会について（経緯確認）
- 2 議会基本条例について
- 3 評価・検証方法について
- 4 その他

主な意見など

1 議会基本条例検証委員会について（経緯確認）

【事務局説明】

※資料1により、説明。

【座長】

- ・ただ今の説明について、ご確認いただけるか。（全員了承）これを前提として、今後の議論を進める。

2 議会基本条例について

【事務局説明】

※資料2により、説明。

3 評価・検証方法について

【座長】

- ・評価・検証方法について、他の議会では市民評価や第三者評価を取り入れているところもあるが、本条例は、議員自ら検討し、策定した条例であり、また、条例の目的である「市民との協働による開かれた議会の実現を図り、もって市民の福祉の増進及び市政の発展に寄与する」ために、日々活動している、市民の代表である議員が自ら評価することが、最も適切と考える。
- ・評価・検証にあたっては、主要会派のみでなく、少数会派の意見も聞いていきたい。
- ・詳細については、事務局より説明させる。

【事務局説明】

※資料3により、説明。

※以下、意見交換

【戸町議員】

- ・評価・検証シートを会派ごとに出してもらい、ここで条例の改正が必要かどうかをまとめて、それを代表者会議に一度報告するというのか。それから、ここで、条例改正が必要なものについては、手続きに入るということか。

【事務局説明】

- ・まず、委員中心に評価・検証作業を行っていただき、それから会派の評価・検証作業を行っていただくことを考えている。

【戸町議員】

- ・例えば、議員間討論など、条文は問題ないが、行われていないような場合、「やりなさい」という提言は当会議で出せるのか。

【座長】

- ・検証するうえで出てきた提言は、あるべきだと思う。どこまで行えるのか、どこが受け取り、実行するのかについては、これから検討しないといけないが、条例に掲載されていることは間違っていないが、議会として体现できていないことが明らかになれば、努力をするよう提言をしたほうが良いと思う。

【事務局説明】

- ・参考資料として、評価・検証シートのサンプルを配付している。その中で「今後の取組の必要性」という欄を案として設けているが、今後に向けての提言については、この欄に記載してもよいと思う。

【座長】

- ・評価検証方法については、資料3のとおりとしたいと思う。(全員了承)
- ・評価・検証するうえでの基礎資料となる、条例各条に関連する本市議会の取組状況について事務局に調査させ、次回、報告を求めることとしたい。

4 その他

【座長】

- ・第2回検証委員会の開催日程につきましては、事務局に調整させ、決まり次第連絡したい。